

交通ルールを守って  
つながる笑顔



# かながわの交通

2013

4

今年の交通安全年間スローガン優秀作(内閣府特命担当大臣賞)一こども部門一

## いそぐほど きけんは近くは やってくる



春の全国交通安全運動オープニングセレモニー(赤レンガ倉庫前広場)



**自転車はどこを走ったらいいの...? 教えて!**

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

**チリン・スクール** を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(25年3月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成25年		7,948	41	9,395
平成24年		8,638	37	10,302
増減数		-690	+4	-907
増減率		-8.0	+10.8	-8.8

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,064,465	4,538,000	4,526,465
免許人口	5,515,369	3,216,670	2,298,699
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成25年3月1日、免許人口は平成25年2月末現在)

## 平成25年度「神奈川県交通安全協会事業計画」の概要

### 〔趣 旨〕

神奈川県交通安全協会は公益財団法人として3年目を迎え、県警察の指導をいただき関係団体と連携を密にしながら、地区交通安全協会と一体となって「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、高齢者、二輪車及び自転車利用者の交通ルールの遵守、マナーの向上について広報啓発活動を強化するほか、「反射材の普及促進」、「ハンドルキーパー運動の実践」等交通情勢に対応した「人優先」の交通安全活動事業を積極的に推進してまいります。

### 〔年間スローガン〕

「安全は 心と時間の ゆとりから」

### 〔重 点〕

- (1) 二輪車・自転車の交通事故防止
- (2) 子どもと高齢者の交通事故防止
- (3) 飲酒運転の根絶～ハンドルキーパー運動の推進
- (4) 違法駐車及び放置自転車・バイクの追放
- (5) 暴走族の追放
- (6) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (7) 夕暮れ時の前照灯の早目点灯



(県協会マスコット「マナーちゃん」)



### 〔年間運動等〕

年間運動、各季の運動等については、下表の主な行事を通じて、関係機関・団体と連携して推進します。

番号	行 事	予 定 日	場 所
1	春の全国交通安全運動	4月6日(土)～15日(月)	全国各地
2	交通事故死ゼロを目指す日	4月10日(水)	全国各地
3	自転車マナーアップ運動	5月1日(水)～31日(金)	県内各地
4	自転車交通安全の日	5月5日(日)	県内各地
5	第44回二輪車安全運転神奈川県大会	5月25日(土)	運転免許試験場
6	二輪車交通事故防止運動・暴走族追放運動	6月1日(土)～30日(日)	県内各地
7	第44回交通安全こども自転車神奈川県大会 第2回交通安全高齢者自転車神奈川県大会	7月6日(土)	横浜文化体育館
8	夏の交通事故防止運動	7月11日(木)～20日(土)	県内各地
9	第48回交通安全子供自転車全国大会	8月7日(水)	東京ビッグサイト
10	第46回二輪車安全運転全国大会	8月3日(土)～4日(日)	鈴鹿サーキット
11	バイクの日	8月19日(月)	全国各地
12	秋の全国交通安全運動	9月21日(土)～30日(月)	全国各地
13	交通事故死ゼロを目指す日	9月30日(月)	全国各地
14	自転車安全整備制度ブロック会議	10月10日(木)	茨城県
15	二輪車安全運転指導員資格審査	10月19日(土)	運転免許試験場
16	自転車安全教育指導者研修会	11月8日(金)	辻堂交通公園
17	自転車安全教育・二輪車安全運転推進委員会	11月15日(金)	県協会会館
18	飲酒運転根絶大会	11月22日(金)	海老名市
19	飲酒運転根絶運動	12月1日(日)～31日(火)	県内各地
20	年末の交通事故防止運動	12月11日(水)～20日(金)	県内各地
21	企画安全委員会	平成26年2月下旬	県協会会館
22	交通指導員連絡会議	平成26年3月上旬	県協会会館

## 交通指導員連絡会議の開催

3月1日(金)、県協会会館において、県、県警察本部、横浜市及び川崎市交通安全協会からも出席をいただき、県下54地区交通安全協会の交通指導員の代表者が出席して平成24年交通指導員連絡会議が開催されました。冒頭で県警交通総務課担当官から現下の交通情勢について説明をいただき、続いて県協会から「平成25年度神奈川県交通安全県民運動事業計画」、「平成25年度公益財団法人神奈川県交通安全協会事業計画」、「平成25年度春の全国交通安全運動実施要綱」のほか、毎年恒例の二輪車安全運転県大会や交通安全こども・高齢者自転車神奈川県大会など、平成25年度に交通安全協会が推進する事業について報告がありました。

その後、定年退職を予定されている方など7人の交通指導員から意見発表があり、20年から30年の活動歴に裏打ちされたボランティア活動の一端をかいま見ることができました。



## 春の全国交通安全運動 オープニングセレモニー

県警察本部では、春の全国交通安全運動初日の4月6日、県副知事や県公安委員長、県協会高橋専務理事等の来賓を招いて、警察本部長以下県警交通部幹部、第一及び第二交通機動隊、高速道路交通警察隊、県下各警察署の白バイ隊員が赤レンガ倉庫前広場に集合して「春の全国交通安全運動オープニングセレモニー」を開催しました。



セレモニーの最初に、この春に入学した小学校1年生4人が「どうろではあそびません」等と声高らかに元気よく交通安全宣言を行い、新1年生に自転車用ヘルメットが贈呈されました。その後白バイ隊の服装点検、車両点検を実施し、警察本部長、県副知事、県公安委員長の挨拶等に続いて、指揮官車(パトカー)を先頭に100台の白バイが颯爽と街頭に出陣し、4月15日までの春の全国交通安全運動をアピールしました。(表紙写真)

なお県協会では、本運動に合わせて新入学児童に「ABCクリアファイル」を、4月10日の「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせてポケットティッシュを配布して、新入学児童等の交通安全を呼びかけています。

## 地区大会を勝ち抜いて 交通安全こども自転車神奈川県大会へ



足柄交通安全協会 事務長 橋本一男

当協会では、「児童を交通事故から守るために、児童が自転車の安全運転に心がけることを習得

すること」を目的に、毎年1市5町の教育委員会及び各学校関係者の協力をいただいて、小学5年生・4年生と母親が参加して「自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」を開催しています。昨年も8月に第34回大会が開催され、足柄上地区1市5町の安全協会6支部から3、4チーム全体で小学生19チーム及び母親6チームが参加して行われました。

大会は、8月下旬に南足柄市体育センターアリーナを会場に、松田警察署の協力を得て行われ、1市5町の首長、教育長をはじめとした来賓や応援団の激励を受け、また豪華な賞品を前に選手の士気も上がり、競技に応援に大会は盛り上がりを見せます。

出場選手の確保については、学校関係者の交通安全へのご理解と協力により、各学校ごとに募集しています。

7月下旬から各支部ごとに学校の教室やグラウンド、体育館を利用して、松田警察署駐在所員の協力をいただきながら自転車安全教育指導員の資格を持った交通指導員を中心に、選手とともに猛暑に耐えて学科の勉強及び安全運転(競技)

大会終了後、参加した児童は自転車の安全運転リーダーとして、各学校で全校生徒に模範運転を披露して、交通安全に大いに貢献しますが、昨年の大会で優勝(開成町立開成南小学校)、準優勝(開成町立開成小学校)した2チームが、晴れて、今年開催される県大会に出場することになっているため、その2校が地区大会と同じように駐在所警察官や交通指導員の熱意ある指導のもと、学科や実技の特別練習を積んで横浜文化体育館での県大会本番に備えます。

平成24年度交通安全ファミリー作文コンクール入賞作品の紹介

優秀作(内閣府特命担当大臣賞)



私立精華小学校  
2年(当時)  
おかたたくうが  
岡田 空夏  
(敬称略)

「じいじがトラックにつ  
いとつされたって！」

おばあちゃんからおか  
あさんにでん話がきまし  
た。ぼくは、きょうふしん  
からか、ま夏なのにせ中  
がゾクゾクしました。

おかあさんとあわてて  
じゅんびをして、車で1  
じかんのところにあるお  
じいちゃんのをいへむかい  
ました。あせる気もちはお  
おかあさんもぼくも同  
じです。二人で、

「あんぜんうんで  
行こうね。」と言いつつ  
むかいました。

車の中でしんぱいのあ  
まりよくないことばかり  
があたまをよぎって、な  
みだが出てきました。

おじいちゃんのをいへに

つくと、おじいちゃんはい  
よいんからちようどい  
えにかえってきたところ  
でした。そして、ぼくのか  
おを見るなり、

「いやー、空夏がのって  
なくてよかつたよ。」と言  
いました。ぼくは、はじめ  
何を言っているのか分か  
りませんでした。

「じいじはぶじだよ。  
少しこしがいたけれどね。  
空夏をのせてるときに、  
じこにあわなくてよかつ  
たよ。びつくりしてまだ  
手がふるえてるよ。しん  
ぱいかけてごめんね。」と  
言いました。じ分のこと  
はさておき、ぼくのしん  
ぱいをしてきてくれたこと  
に気づき、おどろきま  
した。

そして、いいき会だか  
らと、こうつうあんぜん  
についておじいちゃんとお  
おばあちゃんとおかあさ  
んと話しあいました。

車にのるときはこうぶ  
ざせきでも、きついからと

いやがらずにかならずシ  
ートベルトをすること。  
また、車をおりてからも、  
しんごうが青でも左右  
をかくにんしてわたること、  
じてん車のスピードの  
出しすぎにちゆういする  
ことなどをかくにんしま  
した。

み近でのこうつうじこ  
がはじめてで、おどろき  
ましたが、おじいちゃんか  
ぶじでよかつたのと、じこ  
はたくさんの人をかなし  
い気もちにさせたり、み  
がちぢむほどのしんぱい  
をさせてしまうことを  
知りました。

これをきつけかけに、ぼ  
くもじ分のこうつうマナ  
ーをふりかえり、じこに  
あわないど力、じこをお  
こさないくふうをしてい  
こうところきめまし  
た。

じいじ、あんぜんうん  
てんで、もうドキドキさ  
せないでね。



第7回理事会の開催

3月7日(木)、ロイヤルホールヨコハマにおいて、第7回理事会が開催されました。会議では、石坂会長の挨拶に続いて、平成25年度の県交通安全協会事業計画案、同予算案、同地区協会に対する助成金配分案について審議し、平成25年度の県交通安全協会行事予定、春の全国交通安全運動、二輪車及び自転車の県大会について報告されました。



平成24年度地域交通安全活動推進委員協議会ブロック研修会

県下12ブロックの最後として、平成24年度県央第1ブロック(厚木警察署管内、大和綾瀬、座間、海老名市の各協議会)研修会が、大和警察署の講堂において開催されました。ブロック幹事会長である大和綾瀬協議会の古郡会長の挨拶、大和警察署の交通担当次長による交通情勢等の説明に続いて、県協会高橋専務理事が推進委員の心構え、活動のあり方、災害や健康、時事問題等についてパワーポイントを駆使した研修を行いました。





# ハンドルキーパー運動の紹介

## その284 多摩交通安全協会

交通安全協会菅支部、中野島支部、生田支部の各3名が中心となって、「飲酒運転根絶」幟旗を掲げながら、京王線菅稲田堤駅周辺の飲食店を訪問し、チラシ、啓発グッズにより従業員にハンドルキーパー運動の普及、啓発、実践等について更なる推進を呼びかけました。



## その283 幸交通安全協会

川崎駅西ローザーナ広場において、通行人に交通安全ティッシュ等を配布しながら飲酒運転の根絶・追放を呼びかけるとともに、同駅前の飲食店を訪問し、ハンドルキーパーミニ幟旗等を配布してハンドルキーパー運動の推進・拡大を呼びかけました。



## その286 茅ヶ崎地区交通安全協会

市交対協主催の「飲酒運転根絶キャンペーン」に参加し、JR茅ヶ崎駅前のペDESTリアンデッキでは通行人に、個別の飲食店ではステッカー、チラシ、ティッシュなどの啓発物品を配布しながら飲酒運転の危険性、飲酒運転の根絶を呼びかけました。



## その285 藤沢市交通安全協会

藤沢警察署等と連携して、藤沢駅南口において、飲酒運転根絶キャンペーンを行い、送迎のため停車中の運転者、通行車両の運転者等にハンドルキーパーチラシと啓発物品を配布しながらワンポイントアドバイス的に飲酒事故防止、ハンドルキーパー運動の実践について呼びかけました。



## トピックス

## 平成25年優良職員表彰式

長年にわたり交通安全協会の業務に精励し、効率的な業務運営に貢献した職員の表彰式が3月7日(木)、ロイヤルホール横浜で行われ、石坂会長から表彰状が授与されました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- ◎ 30年勤続表彰(3名)  
古知屋顕(県安協)、川辺達之(小田原)、波部雪枝(大船)
- ◎ 20年勤続表彰(1名)  
大塚眞弓(県安協)
- ◎ 7年勤続表彰(6名)  
鈴木芳子(戸部)、横山美佐子(高津)、木済剛久(多摩)、市川信子(逗子市)、峰崎千枝子(藤沢市)、宮戸康夫(大磯地区)



## 青葉交通安全協会の窓口で

青葉交通安全協会では、会員の減少に歯止めをかけ、新規会員を獲得するため、これまで免許証ケースを進呈していましたが、このたびこれに加えて、窓口カウンターに反射材(パトカー、リンゴ、星形等)やリストバンド等を置いて、入会者から希望を聞いて進呈しており、会員獲得に効果を発揮しています。



## 交通事故の悲劇に学ぶ③

### ● 「もう事故とは言わない」

交通犯罪。この言葉を聞いたことがありますか？ 交通事故ではなく、殺人など同じように許されない犯罪のことです。被害者からすれば、殺人でも事故だったとしても大切な人が奪われてしまうことに変わりはありません。絶対に許されない交通犯罪を私は起こしました。

平成17年10月。その日は、久しぶりに実家に帰ることになっていました。仕事を終えた後すぐにアパートを出る予定でしたが、仕事の疲れからいつの間にか寝てしまいました。母からのメールで起きた私は、慌てて「今から帰る」と返信し、車を走らせました。予定より遅くなったこともあり、スピードをいつもより出していました。片側2車線の国道に入ると、さらにスピードを上げて走行しました。ふと真後ろにパトカーが現れました。止まるように警告していたと思いますが、警察に追われたことがなかった私は怖くなり、路肩に寄せて止まるという当たり前のことができず、そのまま走り続けました。パトカーが加速して私の車に近づいてくると、「パトカーから離れたい」という一心からアクセルを踏み込み、車を加速させました。

パトカーが離れていくのをサイドミラーで確認し、ようやく前方に注意を向けた私の目の前に車がありました。「あっ」と思った瞬間には激しい音と衝撃があり、車は何回転もしながら止まりました。赤信号の交差点にブレーキすら掛けずに突っ込んでいたのです。私は、体が動くのを確認すると被害者の方が路上に倒れているのを見つけたので救護するため車から出ました。丁度、救急隊が駆けつけ被害者の救護を始めたところでした。救急隊員の「CPA（心肺停止）」と叫ぶ声と、ピクリとも動かない被害者を見て、自分が取り返しのつかないことを起こしてしまったことに気付き、何とか助かってほしいと心から願いました。私は、祈ること以外何もできませんでした。その後、私も病院へと搬送され、怪我の治療を終えた後、病室で事情聴取が始まりました。その時、警察の方から「相手の方は亡くな

ったぞ」と聞かされ、頭の中が一瞬で真っ白になりました。

私は、危険運転致死罪と道路交通法違反で懲役5年が確定しました。裁判中、保釈申請しましたが却下され、直接謝罪に行くことはできませんでした。手紙で裁判中に謝罪の言葉を伝えることはできましたが、それ以外には、自分では何もできませんでした。私の両親が月命日のたびにご遺族のところへ伺わせていただきました。ある日「もう十分です」と言われました。「息子の分まで社会に貢献する生き方をしてほしい」とありがたい言葉をいただいたそうです。私は両親からその言葉を聞き、生きている限り精一杯の償いをしようと決めました。

事故から4年半以上経過しました。直接謝罪ができる日も近づいてきました。しかし、ご遺族の方の、悲しみが一生続くことも忘れてはいけません。刑務所で学んだことの中に命の重みがあります。被害者は一人でも、その周りには何人もの繋がりがああります。そしてその分、人の命は重いものとなります。その重みを背負って加害者は一生責任を果たしていかななくてはなりません。

どうか交通事故を事故と思わないでください。自分や誰かの大切な人を奪う犯罪だということを認識して、交通ルールを守ってください。犯罪を犯せば多くのものを失います。事故を起こした後後悔しても遅すぎるのです。法を守り、大切な命を守ってください。交通犯罪ゼロを目指し、これ以上悲しみを増やさないようにしてください。大切な人が笑顔で毎日過ごせる社会になるよう心より願っています。

～一般財団法人東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々（第46集）」より～



### インフォメーション

- 九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間  
— 5月中
- 関東交通安全協会連合会表彰式  
— 5/17 浦和ロイヤルパインズホテル
- 二輪車安全運転神奈川県大会  
— 5/25 神奈川県運転免許試験場
- 正副会長会議・第8回理事会  
— 5/29 神奈川県交通安全協会

### 賛助会員のご紹介

公益財団法人神奈川県交通安全協会は、「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、さらなる公益性の高い交通安全事業を推進しています。

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。（敬称略）

- トヨタカローラ神奈川(株) — 横浜市保土ヶ谷区狩場町
- (社)神奈川県建設業協会 — 横浜市中区太田町
- 朝日オフセット印刷(株) — 横浜市鶴見区本町通り
- コイト電工(株) — 横浜市戸塚区新田町
- 日本CR出版会 — 横浜市金沢区鳥浜町



瀬谷交通安全協会  
会長  
渋川 正継さん



会長は、昭和12年、新潟県の生まれで、地元の高校を卒業してから昭和36年に溶解技術の会社に就職し、40代で独立して電熱材料会社を設立しました。

自営の傍ら母親の影響もあってボランティア活動を始められたそうですが、安全協会には、支部が細分化された昭和59年に五貫目支部員となり、平成6年支部長、平成8年会計、平成12年副会長を歴任して、平成24年5月前任の横山会長から会長職のバトンを受け継ぎました。その他県協会の評議員、警察署協議会委員、地域交通安全活動推進委員に任命されております。

瀬谷区内の主な行事である、瀬谷区民マラソン、海軍道路での桜祭り、10月に行われる区内最大のイベント「瀬谷フェスティバル」等においては交通安全キャンペーンを行うとともに、安全協会の役員をはじめ交通指導員から頼りにされ、協会総出で交通整理等に活躍しています。

本年の活動については、これまで各季の交通安全運動ではウドを配布したり、薩摩芋を交通事故ゼロ

にちなんで「からいも」として配布するキャンペーンを展開するなど広報啓発活動を推進してきましたが、春の全国交通安全運動では新入学児童(園児)には歩き方教室、各小学校に対しては「はまっ子交通安全せん教室」を開催して子どもを交通事故から守る活動をこれまで以上に強化していきたいと話しております。その他、相鉄線の瀬谷駅、三ツ境駅の駅前広場において駅利用者等に交通安全ひとこえ運動などを実施したり、町内会や各種団体に対しては警察署と連携して映像を利用して交通安全教室を開催するなど、支部員とともに活動していきたいと考えています。

会長の趣味は音楽鑑賞、ハーモニカ、ゴルフとのこと。特に老人会など高齢者が集まる場所では、ハーモニカを演奏しながら交通事故防止の呼びかけを行っています。これからも健康に留意されながら、地域の交通安全と協会の発展にご尽力をお願いいたします。

(取材協力：瀬谷交通安全協会)

こんにちは

「三浦市交通安全協会」です

今回は、自然豊かな三浦の地ですくすく育つ子ども達に関わる交通安全活動をご紹介します。

一つは、春の全国交通安全運動の一環として行う「入学式交通安全校門キャンペーン」です。

入学式当日、希望いっぱいのキラキラした笑顔で校門をくぐる新小学1年生とご家族に、警察、関係機関・団体の皆様と一緒にABCファイルなど寄贈品やチラシを配布しながら、交通安全を呼びかけます。元気で明るく登校する子ども達を見ると、交通事故という危険から子ども達を守らなくてはいけないと強く思い、交通安全活動の大切さを再認識することができます。また、新1年生には黄色い帽子と各小学校の校章を寄贈しています。これは交通安全協会の会員の皆様が一番ご理解いただけますので、会員減少の折からも、会員の皆様にご賛同いただける目玉となるグッズや活動が他にもないかと、常に模索しているところです。

次に、「三浦市自転車マナーアップ大会」です。

開催の目的は、大会を通じて自転車を利用する三浦市民が自転車安全利用の

ルールを習得し、道路交通の一員として交通事故防止意識を高め、ひいては地域における良き指導者として広く自転車の安全利用を普及・啓発することにより、自転車に係る交通事故を防止することです。また大会の趣旨は、競争のみを目的とするものではなく、子ども達の自転車走行が模範走行と比べてどうか、解説や指導により自らの誤った技術や知識を修正・補足し、自転車を利用する場合の正しいルールとマナーを習得することにより、自転車利用者としてマナーアップを期待するというものです。

第1回大会は、この目的と趣旨に添い当協会等が主催者として、三浦市、県警本部、三崎警察署をはじめとする関係機関・団体等多くの方々のご協力とご尽力により平成20年に開催され、今年は6回目となります。大会は、潮風アリーナという市の立派な施設をお借りして毎年5月に開催しており、当安全協会の主要行事となっています。大会前には各種打ち合わせ、任務分担、選手の募集、審判依頼、来賓等出席依頼、賞品等の事前準備に追われ、当日にあっても会場コース設営、受付、開会式、学科試験、実技試験、安全走行の解説と模範走行、自転車点検要領、成績発表、表彰式、閉会後の片付け……と開会は午後からです。忙しい1日となります。参加選手は小学校の5、6



年生で、上位チームには金、銀、銅メダル、成績優秀者には特別賞の記念品もあり、また県大会出場への予選も兼ねているので、選手たちは力が入ります。昨年は14チーム70人が参加し、保護者を含め100人を超える応援団の声援等大いに盛り上がりました。

自転車は免許のいらぬ「クルマ」ではありますが、歩行者への思いやり、交通ルールを守るなど、自転車を利用した時の心がけは免許を必要とする「車」と同じです。参加した子ども達が少しでもそのことに気づき、正しいルールとマナーを習得して、安全な自転車利用者となり、自転車の交通事故防止につながることを願います。また将来、彼らが免許を必要とする「車」を運転した時、大会で習得したことが頭の片隅にでも蘇ってくれることを期待して、さらに大会を発展させていきたいと思っております。

(小川 記)

地区交通安全協会の活動紹介

川崎臨港



観音橋交差点で警察署交通課長が自転車事故の現状、ワンポイントアドバイス要領を説明後、チラシやワイヤロック、反射材を配布しながら自転車事故防止キャンペーンを実施しました。

戸部



みなとみらい地区いちよう通り美術の広場前において、通行車両や通行人にチラシや反射材などの啓発物を配布しながら地域住民に交通安全を呼びかけました。

横須賀



高齢者の交通死亡事故激増に伴う警察署の特別対策に呼応して、安管等と連携して高齢歩行者の靴に反射材を貼付するなど高齢者交通事故防止キャンペーンを展開しました。

高津



入学式前に、交通安全ABCフライルを配布して事故防止を呼びかけるため、各小学校ごとに各支部役員等が分担する中、田村会長は梶ヶ谷小学校等2校に赴き、新入学児童の交通安全を呼びかけました。

大船



新入学児童用の交通安全ABCフライル及びチラシ「こうつうあんどぜんとういごをまなぼう」を植木小学校長に齊木会長から寄贈し、新入学児童の交通安全を呼びかけました。

鎌倉



野村会長が腰越小学校に赴き、同校の校長に交通安全ABCフライルを寄贈しました。4月5日には同小学校で新入学児童に対するキャンペーンを実施しました。

相模原北



橋本相原の両小学校で親子交通安全教室を開催、自転車の安全な乗り方、信号機の見方、横断歩道の渡り方等の指導のほか、スタントマンによるスケアードストレッチを実施しました。

座間



小田急線相武台前駅において、警察署の自転車盗防止活動に呼応して、同駅の自転車利用者に対し、反射材、チラシを配布しながら自転車事故防止の啓発活動を実施しました。

あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

今年も真新しいランドセルを背負った新入学(園)児たちの元気な姿を街のあちこちで見かけるところとなりました。上級生に連れられて登校する姿はなんとも微笑ましいものですが、昨年4月、京都府亀岡市で集団登校中の小学生ら10人の列に軽乗用車が突っ込み、小学生と付き添っていた保護者が死亡し、小学生8人が重軽傷を負うという痛ましい交通事故が発生している。希望に胸をふくらませ、元気に登校する子供たちが事故に遭わないよう祈らずにはいられない。

さて、春の全国交通安全運動が4月6日から4月15日までの10日間実施されています。

この運動は、全ての県民を交通事故から守るために県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールを守ると正しい交通マナーの向上に取り組みむことを通じて、交通事故防止の徹底を図ることです。

当協会では、運動の基本である「子どもと高齢者の交通事故防止」に基づき、各種交通安全防止活動を積極的に推進してまいります。

地区協会の皆様方におかれましても、悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、地域における効果的な運動を展開していただくようお願いいたします。

なお、4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。この交通事故死ゼロを目指す日は、交通安全に対する国民の意識を「層高めていただくため、平成20年から新たな国民運動として実施されているものです。交通事故死ゼロを目指す日に引きましても、全国交通安全運動と連動した取り組みをお願いします。

ところで、交通事故死についてですが、記録が残る昭和43年以降、全国で交通事故死亡者がゼロであった日は1日もないそうです。ちなみに、昨年全国での1日の死者数の最も少なかった日は2人(2月23日)だそうです。

今年こそ「ゼロ」の日が実現することを願っています。(西村 記)